

<京丸園株式会社>

その実習生はその1枚のトレイをずっと洗っていたそうです。学校の先生から指示についてのアドバイスを受け、「誰がやってもできる方法」を考えたそうです。また、「トレイを洗浄する」ために中にブラシを備え付けた機械を開発したり、数をカウントしたり、座ってできる機械も導入されたそうです。それにより、効率がとても上がったそうです。

次にハウスの中を見せて頂きました。広い敷地の中にミニチンゲン菜がびっくりするくらいたくさん作られていました。苗の植え付けの方法も、人それぞれのやり方でなかなかうまくいかなかったのが、適切なサイズのポケットポットのケースに植えこむことで、誰が植えても同じ深さに植えられるようになったそうです。



ミストが出るハウス

「企業として、当然利益や効率は追求するが、本人に「ガンバレ！」と言うだけでは会社としての成長が止まってしまう。障がいのある人達がどのようにすれば能力を発揮できるかを考えて実行することが、会社を成長させる。」とのお言葉に頭が下がりました。その他、知的障がい者の周りにはスタッフを配置して作業のペースを作り、精神障がい者は個人のペースで作業をするなど、障がい特性に応じた対応をされているそうです。